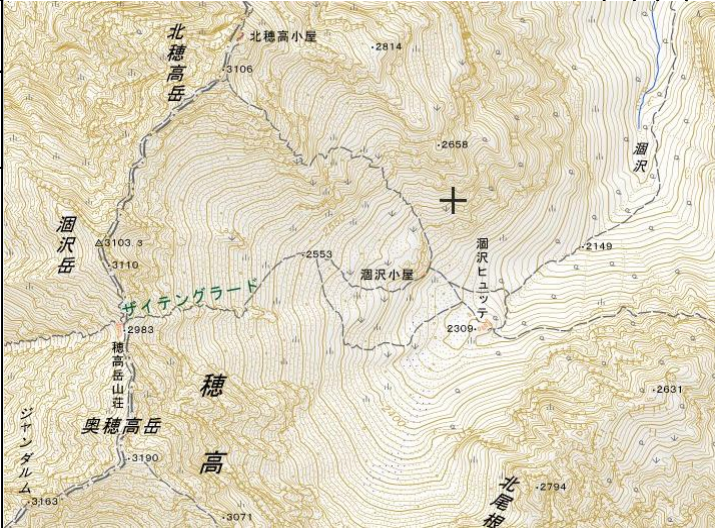



10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	天野	参加 メンバー	CL:金子 SL:津田 天野、鈴木
		報告日	11/23		
山城	北アルプス	山行日	19年 10月 26日 (土) ~		
山名	北穂高岳 (3106m)		10月 28日 (月)		

山行目的 親睦・紅葉を楽しむ      コースタイム (天候: 天気図記号)

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)	10/26 曇り	12:10 北穂小屋発	
総会参加数		7:20 沢渡発 (バス)	13:15 一本	
山行: 1		7:55 上高地着	14:10 涸沢小屋着	
リーダー		8:10 上高地発		
原紙: 会事務局		8:55 明神	10/28 快晴	
		10:00 徳沢	7:40 涸沢小屋発	
		11:10 横尾	9:00 本谷橋	
		12:30 本谷橋	10:10 横尾	
		13:40 一本	11:15 徳沢	
		14:20 涸沢小屋着	12:10 明神	
		10/27 曇りのち小雪のち晴れ	12:50 上高地着	
	7:40 涸沢小屋発	13:35 上高地発		
8:50 南陵取付	14:05 沢渡着			
9:10 アイゼン装着				
9:30 直登ルート				
10:10 一本				
10:50 北穂高岳山頂				

〈山行報告〉 出発日の 25 日は台風 21 号に伴う大雨で土砂降りだった。鈴木さんは外房線が不通のため 26 日朝の上高地に間に合わないとの連絡があり、27 日に涸沢小屋で合流する事にした。上高地に着くとカラマツの黄葉が見事だ。しかし土曜というのに閑散としている。徳沢キャンプ場に着くとのどかな風景が広がっている。ホットする風景だ。本谷橋からの登りでは、前回 (9 年前) ヘロヘロだったので、こんなに良い路だったのかと驚いた。涸沢に着くと穂高岳はかなりの積雪だ。27 日朝食を頂き小屋を出発。少し登ると下山者が教えてくれた。「南陵ルートに行かないで、谷を直登した方が良い。雪も絞まっていてトレースも有る。」との事で、トレースを探しながら行くが、見つからず南陵取付まで来てしまった。アイゼンを装着し鎖を頼りに少し登ったが、トップの金子さんが「凍っていて無理」と判断。直登ルートに戻るため少し下るとトレースを見つけ登りだす。ガレた石と雪が混ざっているのでとても歩きにくい。下山はかなり苦勞するなど思いながら登る。一本取った辺りから雪が深くなり登りやすくなったが、だいぶ急登になって息が上がる。一步一步踏みしめて登ると山頂に到着し握手を交わした。小屋でコーヒーを飲んで大休止していると、雪がぱらついてきた。予報では午後は晴れだったのに！下山は「転倒したら大怪我をする」「怪我したら楽しみの歌も歌えない、麻雀もできない」と思い、慎重に足を置いて下った。小屋に着くと鈴木さんが出迎えてくれてホットした。28 日は快晴で穂高岳青空に映え美

しい。横尾までは紅葉を愛でながら下り、ゴールに近づくにつれ、足早となり観光客でにぎやかな上高地に到着。



《フリースペース》



確認 (リーダー)	11/26	金子	〈リーダー所見〉
作成 (報告者)	11/23	天野	2017 年の涸沢紅葉山行以来 2 年振りの穂高行きとなった。今回は涸沢の紅葉が終わった晩秋の穂高を楽しみたくこの時期に計画した。北穂の小屋でコーヒーを飲みながら槍ヶ岳を眺める予定だったが生憎のガスで望めなかった。最終日は前日の天気と打って変わり快晴の穂高連峰を眺めながら晩秋の静かな山旅を楽しむことが出来た。

北穂高岳山頂